

経営比較分析表（令和6年度決算）

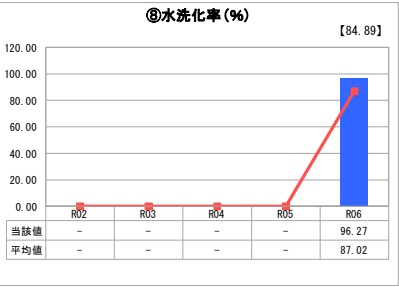
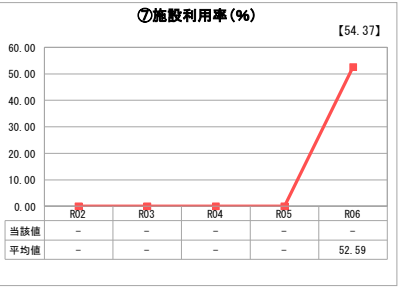
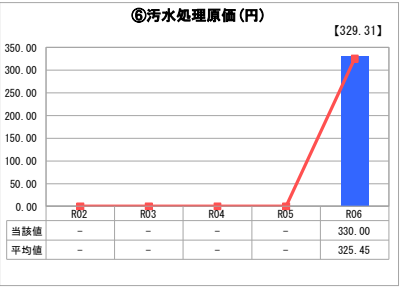
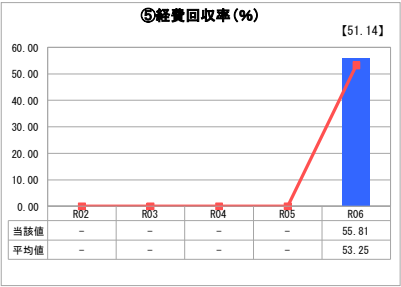
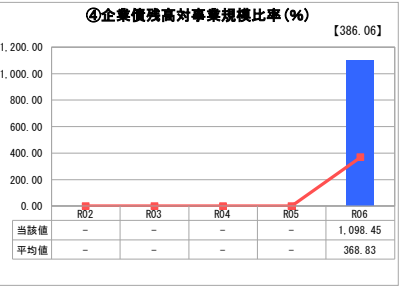
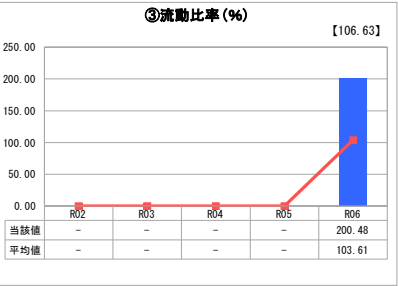
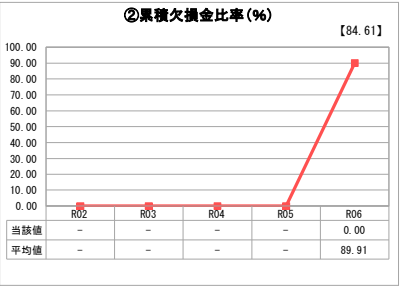
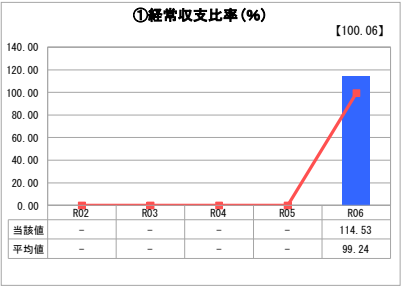
鳥取県 北栄町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)
-	27.59	0.95	100.00	4,526

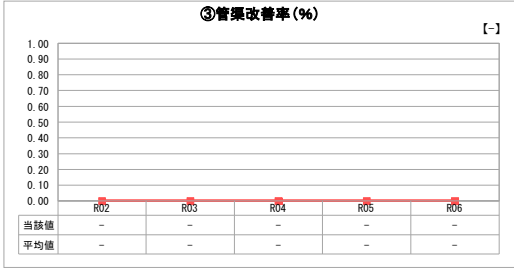
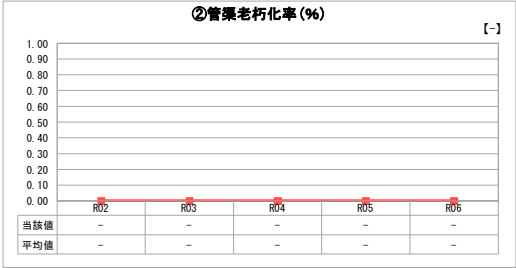
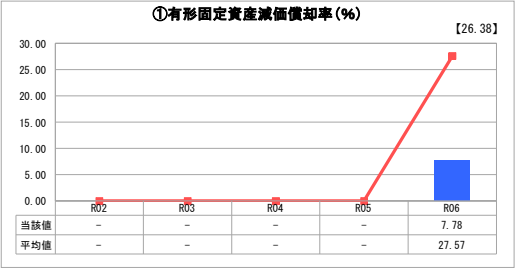
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
14,127	56.94	248.10
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
134	51.22	2.62

グラフ凡例
■ 当該団体の値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

本事業は、令和6年度から地方公営企業法の一部適用を行っています。
本町の本事業は、特定環境保全公共下水道事業から除外された地域を補完するために実施しています。
本町では整備はすでに完了しており、現在は維持管理を主とした事業内容であり、新規の建設改良はありません。結果として、事業規模は小さいものとなっています。
その結果、企業債務高対事業規模比率については、類似団体と比較し非常に高い状況となっています。しかし今後借入を行う予定はありません。そのため、企業債務高は着実に減少していく見込みとされていますが、事業規模に対して抱える企業債務高はしばらく大きい状態が続きます。

2. 老朽化の状況について

平成18年～20年に設置し、16年～18年が経過しています。合併処理浄化槽の耐用年数は30年のため、老朽化には至っていませんが、機械設備に係る修繕費の支出は増加傾向にあります。

全体総括

現在は維持管理が主体事業となっているため、経営上に大きな問題はありません。
ただし、今後老朽化による更新業務が発生した場合、財源的に厳しいことが明白であることから、事業継続するため計画的に更新を実施する必要があります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。